

低コスト木材・地場素材を融合した木製製品の開発

【相手先企業】

株式会社 造形集団ディー・オー

【目 的】

近年のユーザーの傾向として「天然」「他に類のない木製品」といった要望が多く出ているため、天然、自然素材を投入し「ぬくもり」を感じる製品を作りを行った。同時に商品の差別化を図るため、地場の素材との融合等による商品作りを行った。

【内 容】

1) 製作品種及びデザインの検討

【品種について】

検討の結果、テーブル・椅子・照明器具・洗面台等の日常生活でよく使用されるものの中からイスと洗面台を選定した。

【デザインについて（コンセプト）】

「自然素材」「地場素材」「ローコスト・リサイクル材」「ぬくもり感」

2) 地場素材の選定

検討の結果、本製品製作には県内地場産業である焼き物（笠間焼き）を採用した。

3) ローコスト木材及びリサイクル素材等の利用検討。

○椅子－県産の目の粗い比較的安価な桐材のみを使用した。

○洗面台－乾燥割れ等が入ってしまったナラ材やスギ材を使用した。

【成 果】

○椅子－簡単な構造で、仕上げ塗装は時代焼き風の仕上げとしたため、和洋風に合わせることが出来る商品となった。

○洗面台

定型に当てはまらない形状のナラの台に、洗面ボウルをはめ込んだ形状の商品で、洗面ボウルは、シンプルな椀状の笠間焼きを採用した。



洗面台（スギ）



椅子

製品は形状を意識的に不定形としたため温かみのあるものとなった。この製品のターゲット（適用）は店舗や公共施設である。

【販 売】

これらの製品は、平成14年12月より大型DIY店（千葉県）で展示販売を開始した。

基礎となった事業：オンリーワン技術創出総合支援事業 共同研究

木製インテリア・エクステリア製品の開発（平成14年度）

担当部署：生産技術部 寺門 秀人